

令和 7 年度
教育委員会点検評価報告書
(令和 6 年度事務事業分)

令和 7 年 9 月
印南町教育委員会

はじめに

本町では、「豊かな心・自立心を育む子育て 教育の郷 いなみ」「住みたい住み続けたいと感じられる魅力あふれる郷 いなみ」を推進するため第6次印南町長期総合計画前期基本計画（令和3年3月）、子ども・子育て支援事業計画「みんなが輝く『いなみっ子未来プラン』」（令和7年3月）に沿った、家庭教育、幼児教育、学校教育、生涯学習を通して連続性・系統性のある印南町の教育を展開しています。

本報告書は、令和6年度に実施した事務事業についての課題や今後の取組の方向性を明らかにし、効果的な教育行政の一層の推進を図るために行った点検評価の結果をまとめたものです。

今後とも、教育行政の充実、推進に努めてまいりますので、皆様のご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和7年9月

印南町教育委員会

目 次

印南町教育委員会評価に当たって	2
点検評価結果	5
学校教育関係	6
生涯学習関係	19
幼児対策関係	31

～印南町教育委員会評価に当たって～

1 はじめに

印南町教育委員会では、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づき P D C A のマネジメントサイクルを確立すべく、事務事業の点検評価（以下「評価等」という。）を実施し、印南町教育委員会評価委員会（以下「評価委員会」という。）の意見を受け、報告書としてまとめました。



2 評価の対象

第6次印南町長期総合計画に基づく、印南町教育計画により実施した事業のうち、主な28の事業について評価の対象としました。

3 評価等の方法

- (1) 評価等に際し、まず教育委員会担当者において事務事業ごとに自己点検評価を行い、評価調書を教育長に提出し、教育委員会としてとりまとめたうえで評価委員会に報告しました。
- (2) 評価等に際し、評価等の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する方などで構成する評価委員会で、様々な意見を頂き最終評価を行いました。
- (3) 評価等については、必要性、有効性、経済・効率性、目標達成度の観点から分析し、課題や今後の対応等について示しました。

(4) 評価は、それぞれの評価項目において次の4段階評価としました。

○必要性・・・・・(住民ニーズはあるか。事業を行う必要性があるか。)

- 4 : 必要性は高い。
- 3 : 必要性はある。
- 2 : 必要性は少ない。
- 1 : 必要性はない。

○有効性・・・・・(施策や目的の実現に寄与しているか。)

- 4 : 効果は高い。
- 3 : 効果はある。
- 2 : 効果はあまりない。
- 1 : 効果はない。

○経済・効率性・・(事務効率化・コストを縮減しているか。)

- 4 : 効率性は高い。
- 3 : 効率的である。
- 2 : あまり効率的ではない。
- 1 : 効率的ではない。

○目標達成度・・・(計画どおりに目標を達成できたか。)

- 4 : 十分できている。
- 3 : できている。
- 2 : あまりできていない。
- 1 : できていない。

(5) 評価の今後の方向性については、「拡大」、「維持」、「見直し」、「休止」、「廃止・終了」の5つの方向性で表しました。

(6) 評価等に際し、客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する方で構成する教育委員会評価委員会で様々なご助言を頂きました。

なお、委員は次の方々です。

職名	氏名	所属等
委員長	大江 輝男	学識経験者
委員	岡本真由美	学識経験者

4 評価等の結果

評価の結果は以下の通りです。

ア 教育委員会評価

拡大する	維持する	見直しする	休止する	廃止：終了する
1	2 7			

イ 教育委員会評価 委員会評価

拡大する	維持する	見直しする	休止する	廃止：終了する
1	2 7			

5まとめ

28の事業のうち「拡大する」と評価されたものは、外国青年招致事業の1つの事業です。

残り27の事業は概ね維持するとされました。

今後この評価結果を来年度以降の教育行政に反映させ、時代の流れを見極め、住民のニーズに応えられるよう、その目的、必要性、効果等を十分に検討しながら、事務事業に取り組んで行きたいと思います。

点検評価結果

学校教育関係

防災「いなみっ子」未来プロジェクト事業	7
人権教育総合推進事業	8
紀の国緑育推進事業	9
学校給食調理事業	10
学校給食費無償化事業	11
各種学校教育補助事業	12
印南町学習支援員配置事業	13
特色ある学校づくり実践研究事業	14
学力向上に係る標準学力調査実施事業	15
外国青年招致事業	16
印南町立小中学校通学及び校外活動スクールバス運行事業	17
印南町学習支援ソフト導入事業	18

令和6年度 印南町教育委員会事業評価調書

担当係名：学校教育係

事務事業名	防災「いなみっ子」未来プロジェクト事業
目的	文部科学省委託「学校安全総合支援事業」として学校の防災教育を推進していく中で、教育委員会及び学校における取組みを『防災「いなみっ子」未来プロジェクト』として位置づけ、さらなる防災教育を推進する。
事業内容	継続した防災避難訓練及び家庭内ワークショップの実施と、地域を巻き込んだ防災教育を推進していくことで、地域全体の防災意識及び防災力の向上を図る。

	区分	金額(円)	特記事項
事業コスト	決算額	502,635	防災教育消耗品、防災リーフレット作成
財源内訳	国庫補助金	0	
	県補助金	500,636	学校安全総合推進事業県補助金〔10/10〕
	その他収入	0	
	一般財源	1,999	

実績・成果	○各園小中学校で定期的な防災避難訓練の実施〔全園小中学校〕 ○印南町園小中一斉地震津波避難訓練の実施〔全園小中学校〕 ○災害発生時の情報伝達訓練〔全園小中学校〕 ○防災キャンプ（宿泊を伴う避難所運営訓練）〔印南中〕 ○ペットボタルの設置〔印南中〕 ○土砂災害啓発センターによる出張減災教室の開催〔清流中〕 ○地域と連携した避難訓練の実施〔切目小・切目中〕 ○家庭内ワークショップの実施〔全小中学校〕 ○『印南の津波防災』Part7 冊子作成〔印南中〕
-------	---

事業の評価	必要性（住民のニーズはあるか。事業を行う必要性があるか。）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や目的の実現に寄与しているか。）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与しない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化・コスト縮減しているか）			
第1次評価 (担当者：自己評価)	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	<input type="checkbox"/> A 取り組みに優れ、十分成果が上がっている。			
	<input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果が上がっている。			
判定び 説考 明察	<input type="checkbox"/> C 成果は十分上がってないが、改善の余地がある。			
	<input type="checkbox"/> D 成果がほとんど上がってなく、事業実施の見直しが必要。			
	○拠点校である印南中学校では、実際の避難施設での宿泊を伴う避難所運営体験を実施するなど、昨年度の関西大学との連携に引き続き、工夫した取り組みが展開されている。啓発パンフレットの作成・配布などを含め、拠点校として他校を牽引し、地域の防災力向上に資する役割・効果が十分に発揮されており、また来年度以降も期待できる。 ○清流中学校では、土砂災害啓発センター職員の講義を受講するなど、取り組み内容も充実している。令和7年度は清流中学校に加え、清流小学校でも同様の講義を受講する予定となっている。 ○各小中学校で、防災が「当たり前」のもとて根付いており、継続することで防災意識の醸成が図られてきた。 ○生徒たちは主体的に防災学習に取り組む姿が見受けられ、特に今後防災活動の中心になっていく中学生に、災害発生時の活躍も期待できる。 ○どのような場面であっても自らの判断で行動できる子ども達を育成する為には、地道な活動を継続して行うことが重要であるから、そのためには本事業を引き続き実施することが有効である。			
	<input type="checkbox"/> 拡大する	最終評価 (評価委員会)	地震（家屋倒壊・家具転倒）・津波に対する防災避難訓練は定着し、切目小中においての地域と一体となった避難訓練等は、地域住民の危機管理意識の醸成に繋がっている。 また広い町内において、地震被害のみならず豪雨による土砂災害の危険もあるところから、清流中が土砂災害に関する学習を取り組んでいることは評価出来る。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持する			
	<input type="checkbox"/> 見直しする			
	<input type="checkbox"/> 休止する			
	<input type="checkbox"/> 廃止：終了する			

令和6年度 印南町教育委員会事業評価調書

担当係名：学校教育係

事務事業名	人権教育総合推進事業〔保護者学級開設事業〕
目的	広く人々の人権問題に対する理解と認識を深め、人権に関わる問題の解決に資するため、小学校に在籍する児童の保護者を対象として、女性・子ども・高齢者・障害者などの人権に関する問題についての学習を実施する。
事業内容	人権教育に対する理解を図るためにの交流や講師による講演会で保護者の人権教育の高揚を図る。

	区分	金額(円)	特記事項
事業コスト	決算額	72,740	謝金、消耗品費
財源内訳	国庫補助金	0	
	県補助金	36,370	和歌山県人権教育推進事業県補助金〔1/2〕
	その他収入	0	
	一般財源	36,370	

実績・成果	○印南小：人権学習、地域で育てる人権意識、災害時の人権に関する講演会等〔計6回〕 〔※参加者数：延257名（保護者220名、その他37名）〕 ○稻原小：人権学習、インターネット利用についての教育講演会等〔計3回〕 〔※参加者数：延97名（保護者77名、その他20名）〕 ○切目小：人権学習、ネットトラブルに関する人権講演会等〔計3回〕 〔※参加者数：延129名（保護者70名、その他59名）〕 ○清流小：学校教育・人権学習、インターネットについての講演会等〔計3回〕 〔※参加者数：延159名（保護者123名、その他36名）〕
-------	--

事業の評価	必要性（住民のニーズはあるか。事業を行う必要性があるか。）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や目的の実現に寄与しているか。）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与しない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化・コスト縮減しているか）			
第1次評価 (担当者：自己評価)	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	<input type="checkbox"/> A 取り組みに優れ、十分成果が上がっている。			
	<input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果が上がっている。			
判定び 説考 明察	<input type="checkbox"/> C 成果は十分上がってないが、改善の余地がある。			
	<input type="checkbox"/> D 成果がほとんど上がってなく、事業実施の見直しが必要。			
	○保護者と学校の連携・情報共有としても「地域と共にある学校づくり」の推進を図り、子どもの学校生活や子育てを通じた人権教育の関わり方について、協議することが出来た。			
	<input type="checkbox"/> 拡大する	最終評価 (評価委員会)	様々な人権課題（女性、子ども、高齢者、障がい者、外国人、ネット上の人権侵害、同和問題等）が存在する中、教育講演会でネット上における人権侵害等に触れる学校が増えている。 保護者と共に人権について考える機会を今後も継続していきたい。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持する			
	<input type="checkbox"/> 見直しする			
	<input type="checkbox"/> 休止する			
	<input type="checkbox"/> 廃止：終了する			

令和6年度 印南町教育委員会事業評価調書

担当係名：学校教育係

事務事業名	紀の国緑育推進事業〔印南小学校・稻原小学校・切目小学校・清流小学校・印南中学校・切目中学校・清流中学校〕
目的	森林の生態や自然体験学習を通して自然環境の保全について、再認識するとともに、木工体験学習によって木の価値を理解し、また物作りに対する興味・関心を醸成する。
事業内容	紀中森林組合員指導による森林体験学習を通して、林業に関する作業を自ら体験する。

	区分	金額(円)	特記事項
事業コスト	決算額	1,313,422	指導委託、需用費等
財源内訳	国庫補助金	0	
	県補助金	1,313,422	紀の国緑育推進事業県補助金〔10/10〕
	その他収入	0	
	一般財源	0	

実績・成果	○印南小学校〔第5学年(21名)〕 ①木工体験(本立て作り) ○稻原小学校〔第5学年(9名)〕 ①木工体験(本立て作り) ○切目小学校〔第5・6学年(23名)〕 ①木工体験(松ぼっくりツリー作り) ○清流小学校〔第5・6学年(30名)〕 ①木工体験(本立て作り) ○印南中学校〔第1学年(14名)〕 ①木工体験(プランターカバー作り) ○切目中学校〔全学年(41名)〕 ①森林学習 ②木工体験(ロングベンチ作り) ○清流中学校〔全学年(25名)〕 ①森林学習・間伐体験 ②木工体験(椅子、皿皿板作り)
-------	---

事業の評価	必要性(住民のニーズはあるか。事業を行う必要性があるか。)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策や目的の実現に寄与しているか。)			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与しない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
第1次評価 (担当者:自己評価)	目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	<input type="checkbox"/> A 取り組みに優れ、十分成果が上がっている。			
	<input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果が上がっている。			
判定び 説明 察	<input type="checkbox"/> C 成果は十分上がってないが、改善の余地がある。			
	<input type="checkbox"/> D 成果がほとんど上がってなく、事業実施の見直しが必要。			
	○森林から受ける恩恵等について、身近なものを活用し、教材化をしていく等、継続して森林に対する関心を深めた上で、学習した内容を個々に深め、自然を大切にする精神を育む必要がある。令和3年度は3校実施だったのに対し、令和4、5年度は5校実施に拡充している。令和6年度は印南小学校及び印南中学校が新たに取り組み、合計7校での実施である。			
	事業の評価 方 向 性 (教育委員会)	<input type="checkbox"/> 拡大する	最終評価 (評価委員会)	日本の国土の三分の二は森林であり、和歌山県は76.4%になる。森林の果たす役割は大きく雨水の保有による土砂災防止、木の光合成による二酸化炭素の減少は地球温暖化抑制に寄与する。 この事業を端緒にして森林学習を推し進めている学校もある。今後も、物づくりを通して森林のもたらす恩恵に気づかせたい。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持する			
	<input type="checkbox"/> 見直しする			
	<input type="checkbox"/> 休止する			
	<input type="checkbox"/> 廃止:終了する			

令和6年度 印南町教育委員会事業評価調書

担当係名：学校教育係

事務事業名	学校給食調理事業〔自校方式〕		
目的	学校給食法に基づき、衛生的で栄養のバランスのとれた食事を提供することにより、児童の健康の保持・増進や体格・体力の向上を図り、また、給食時の実践活動をとおして、児童に食生活に対する正しい知識と行動力を養い、食育の推進を図る。		
事業内容	自校方式により、地産地消による質の高い多彩な食材を取り入れることで、安全・安心な学校給食の実施と生産から食までの過程を通じた給食教育を行う。		

	区分	金額(円)	特記事項
事業コスト	決算額	45,554,501	人件費:42,552千円、補助:626千円、委託料944千円、消耗品等:1,433千円
財源内訳	国庫補助金	0	
	県補助金	0	
	その他収入	0	
	一般財源	45,554,501	

実績・成果	【給食調理業務従事者】 ○従事者：会計年度任用職員(フルタイム)(8名)、会計年度任用職員(パート)(9名) 計17名 ○給与：会計年度任用職員(フルタイム) 〔月額@170,900円～180,700円、賞与@384,525円～406,575円〕 会計年度任用職員(パート)〔日額@6,900円～7,100円〕 ○保険等：会計年度任用職員(フルタイム)〔学校共済組合(保険・年金)〕、 会計年度任用職員(パート)〔学校共済組合(保険)・厚生年金・雇用保険〕 【各種給食補助】 ○燃料費補助：生徒1人@1,000円、検食補助：検食に係る牛乳代			

事業の評価	必要性（住民のニーズはあるか。事業を行う必要性があるか。）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や目的の実現に寄与しているか。）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与しない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化・コスト縮減しているか）			
第1次評価 (担当者：自己評価)	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	<input type="checkbox"/> A 取り組みに優れ、十分成果が上がっている。 <input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果が上がっている。 <input type="checkbox"/> C 成果は十分上がってないが、改善の余地がある。 <input type="checkbox"/> D 成果がほとんど上がってなく、事業実施の見直しが必要。			
判定及び説明	○県下でも数少ない自校方式による学校給食を実施することで、安全安心な学校給食の提供、地産地消の推進、食に対する感謝の気持ちを育むことが出来た。			
事業の評価方 (教育委員会)	<input type="checkbox"/> 拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 維持する <input type="checkbox"/> 見直しする <input type="checkbox"/> 休止する <input type="checkbox"/> 廃止：終了する	最終評価 (評価委員会)	調理にかかる人件費等は相当な額ではあるが、学校給食は子ども達の健全な身体の成長に大きな役割を果たしている。 特に自校給食は、作り立てのものを食べられるということで子ども達にとっては魅力的である。 自校給食は、地産地消を推し進めることで地域学習に繋がり、食に関する感謝の念を育むことを容易にさせてくれる。	
	<input type="checkbox"/> 維持する			

令和6年度 印南町教育委員会事業評価調書

担当係名：学校教育係

事務事業名	学校給食費無償化事業		
目的	保護者が負担する学校給食費の全部を補助することにより、子育て世帯の経済的負担を軽減するとともに、児童生徒の健全な育成を支援する。		
事業内容	小学校では1食あたり250円、中学校では1食あたり320円の学校給食費相当額の全額を補助する。		

	区分	金額(円)	特記事項
事業コスト	決算額	24,597,216	小学校15,640千円 中学校8,918千円 町外就学39千円
財源内訳	国庫補助金	0	
	県補助金	6,577,000	学校給食費無償化事業県補助金〔1/2〕10月分から対象
	その他収入	0	
	一般財源	18,020,216	

実績・成果	小学校 15,639,915円 ○印南小学校（161名） 給食日数：193日 補助金額：7,459,750円 ○稲原小学校（61名） 給食日数：194日 補助金額：2,742,230円 ○切目小学校（62名） 給食日数：195日 補助金額：2,563,665円 ○清流小学校（64名） 給食日数：194日 補助金額：2,874,270円 中学校 8,918,100円 ○印南中学校（69名） 給食日数：198日 補助金額：3,912,880円 ○稲原中学校（27名） 給食日数：199日 補助金額：1,431,320円 ○切目中学校（41名） 給食日数：195日 補助金額：2,080,320円 ○清流中学校（25名） 給食日数：201日 補助金額：1,493,580円 町外就学 ○南部中学校（1名） 給食日数：83日 補助金額：24,900円 ○たちばな支援学校（1名） 給食日数：88日 補助金額：14,301円
-------	---

事業の評価	必要性（住民のニーズはあるか。事業を行う必要性があるか。）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や目的の実現に寄与しているか。）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与しない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化・コスト縮減しているか）			
第1次評価 (担当者：自己評価)	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない

判定び 察明 説考	○令和6年度から給食費無償化事業を実施している。			
-----------------	--------------------------	--	--	--

事業の評価 方 向 性 (教育委員会)	<input type="checkbox"/> 拡大する	最終評価 (評価委員会)	人口減少対策と子育て世代の負担軽減が目的で、県が半分の給食費を負担し、残りを市町村が負担し給食費は無償となる施策である。 子育て世代にとって有難い施策であるのは間違いないところではあるが、少子化に歯止めがかかるかは長いスパンで見ていかなければならない。従来、子どもの食は親の責任で行うものであり、そうした意識が薄れないかという危惧はある。家庭で食に関する指導を一層強化しなければならない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持する			
	<input type="checkbox"/> 見直しする			
	<input type="checkbox"/> 休止する			
	<input type="checkbox"/> 廃止：終了する			

令和6年度 印南町教育委員会事業評価調書

担当係名：学校教育係

事務事業名	各種学校教育活動補助事業		
目的	各種学校活動に対して補助を行うことで、学校教育活動の振興及び保護者負担の軽減を図る。		
事業内容	修学旅行、部活動、校外活動等の学校活動に係る経費に対して一部補助を行う。		

	区分	金額(円)	特記事項
事業コスト	決算額	2,137,686	
財源内訳	国庫補助金	0	
	県補助金	0	
	その他収入	0	
	一般財源	2,137,686	

実績・成績	○校外活動費補助 [539,575円 小：349,000円、中：190,575円(補助基準：1,000円/人)] ・遠足や社会見学などの校外活動に係る保護者負担を減らすための活動補助 ・和歌山大学キャンパス・県立博物館 美術館見学における校外活動費補助			
	○部活動補助 [480,000円(補助基準：3,000円/人)] ・中学校部活動の経費（消耗品等）に対する活動補助			
	○修学旅行付添教員補助 [324,691円 小：88,000円、中：236,691円(補助基準：(小) 22,000円/人、(中)60,000円/人)] ・修学旅行に伴う児童生徒への教職員付添いにかかる旅費補助			
	○県大会等参加補助 [793,420円(補助基準：@交通費及び宿泊費)] ・県大会以上出場に伴い、会場までの交通費や宿泊費等に対する参加補助			

事業の評価	必要性（住民のニーズはあるか。事業を行う必要性があるか。）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や目的の実現に寄与しているか。）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与しない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化・コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
第1次評価 (担当者：自己評価)	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	<input type="checkbox"/> A 取り組みに優れ、十分成果が上がっている。			
	<input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果が上がっている。			
	<input type="checkbox"/> C 成果は十分上がってないが、改善の余地がある。			
判定説明 及び考察	<input type="checkbox"/> D 成果がほとんど上がってなく、事業実施の見直しが必要。			
事業の評価 方 向 性 (教育委員会)	<input type="checkbox"/> 拡大する	最終評価 (評価委員会)	学校運営を進めていくなかで、保護者に対して金額的に負担を強いるのがつらい場面が多々ある。子どもの数が少ないことから、バスによる移動ということになると一人当たりの単価が上がってしまう。そうした時に、町からの補助金は大変有難く、今後も続けるべき事業である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持する			
	<input type="checkbox"/> 見直しする			
	<input type="checkbox"/> 休止する			
	<input type="checkbox"/> 廃止：終了する			

令和6年度 印南町教育委員会事業評価調書

担当係名：学校教育係

事務事業名	印南町学習支援員配置事業		
目的	学習規律の確立と学習意欲の向上を図るため、必要に応じて学習支援員を配置することで、個別の支援を行う。		
事業内容	町内の小中学校へ学習支援員を配置し、基礎的な学習等の充実をサポートするとともに、学級全体の学力向上を学級担任との連携をもとに支援していく。		

	区分	金額（円）	特記事項
事業コスト 財源内訳	決算額	12,180,432	学習支援員報酬等
	国庫補助金	0	
	県補助金	0	
	その他収入	0	
	一般財源	12,180,432	

実績・成果	○小中学校へ計8名の学習支援員を配置し、学校での体験活動や問題解決的な学習の充実、少人数指導や習熟度別指導、チーム・ティーチング（TT）により、学習意欲及び学力の向上を図った。 ○生活面や学習面での支援が必要な児童生徒への対応や個別学習等により、安定した学級運営を築けている。 〔※印南小：3名 稲原小：2名 切目小：1名 【小学校計6名】〕 〔※印南中：1名 切目中：1名 【中学校計2名】〕			

事業の評価 第1次評価 (担当者：自己評価)	必要性（住民のニーズはあるか。事業を行う必要性があるか。）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や目的の実現に寄与しているか。）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与しない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化・コスト縮減しているか）			
判定説明 及び考察	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	<input type="checkbox"/> A 取り組みに優れ、十分成果が上がっている。			
	<input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果が上がっている。			
事業の評価 方性 (教育委員会)	<input type="checkbox"/> C 成果は十分上がってないが、改善の余地がある。			
	<input type="checkbox"/> D 成果がほとんど上がってなく、事業実施の見直しが必要。			
	○学習の定着に遅れがある児童生徒に対する個別学習や、特別支援学級に在籍する異学年児童への対応、少人数学習等、各学校の実情に応じた配置及び運営を図ることで、効果的な運用が出来たが、今後も保護者との連携を密にしたうえでの活用を行っていく必要がある。			
	<input type="checkbox"/> 拡大する	最終評価 (評価委員会)	異学年の特別支援学級児童生徒を一人で指導することは難しく、担任の負担が大きくなる。そうした状況において町担当学習支援員の存在・働きは大きい。 また、可能な限りの県費非常勤講師の枠を頂き、町費支援員を一日勤務にするなど、一般財源からの拠出を減らす工夫・努力が見られる。 普通学級での個別の支援を充実するためにも継続すべき事業である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持する			
	<input type="checkbox"/> 見直しする			
	<input type="checkbox"/> 休止する			
	<input type="checkbox"/> 廃止：終了する			

令和6年度 印南町教育委員会事業評価調書

担当係名：学校教育係

事務事業名	特色ある学校づくり実践研究事業
目的	子どもや地域の状況に応じた、地域に開かれた信頼ある学校づくりを目指し、各学校におけるそれぞれの特色を生かした創意工夫に富んだ魅力ある学校づくりに努める。
事業内容	地域に開かれた特色ある学校づくりを実現するため、各小学校及び中学校から1校を指定し、学校に応じた研究主題を設定のうえ、研究成果の発表を通じて研修機会の確保と学校間における研究内容の共有化を図る。

区分		金額(円)	特記事項
事業コスト 財源内訳	決算額	1,791,739	学習支援員報酬、研究発表用消耗品等
	国庫補助金	0	
	県補助金	0	
	その他収入	0	
	一般財源	1,791,739	

実績・成績	<p>○特色ある学校づくり研究指定校及び研究主題 清流小学校：「主体的に学習に取り組む態度を育て、問題解決能力を高める指導の工夫」 ～全教科・領域を通して～ 稻原中学校：「多様な学びを通じて、基礎・基本の学力の定着をはかる。」 「主体的に高め合える集団づくりに努める。」</p> <p>○研究発表会参加人数 清流小学校：60名 稲原中学校：54名</p> <p>○研究指定校への学習支援員配置 清流小学校に1名配置</p>
-------	---

事業の評価	必要性（住民のニーズはあるか。事業を行う必要性があるか。）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や目的の実現に寄与しているか。）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与しない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化・コスト縮減しているか）			
第1次評価 (担当者：自己評価)	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	<input type="checkbox"/> A 取り組みに優れ、十分成果が上がっている。			
	<input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果が上がっている。			
判定 及び 説考 明察	<input type="checkbox"/> C 成果は十分上がってないが、改善の余地がある。			
	<input type="checkbox"/> D 成果がほとんど上がってなく、事業実施の見直しが必要。			
	○本事業を計画的に実施することで、研究主題を基軸として校長を中心とした全教職員による組織的な研究活動の活性化を図り、また研究発表会を開催することで、他校の教職員の研修機会を確保することが出来た。			
	事業の評価 方 (教育委員会)	<input type="checkbox"/> 拡大する	最終評価 (評価委員会)	小規模校が多く少人数の教職員が多く占める町内の学校において、研修の場を広げるこうした機会は、それぞれの力量アップに繋がり有意義である。 また、指定校の立場としては、定期的に自校の研究主題を整理・総括する場としても意義深いものがある。研究発表会に向けて職員が一丸となり取り組む姿は、子ども達にとっても良い影響をもたらすものと思われる。
		<input checked="" type="checkbox"/> 維持する		
		<input type="checkbox"/> 見直しする		
		<input type="checkbox"/> 休止する		
		<input type="checkbox"/> 廃止：終了する		

令和6年度 印南町教育委員会事業評価調書

担当係名：学校教育係

事務事業名	学力向上に係る標準学力調査実施事業
目的	確かな学力向上に向けた取り組みをより効果的なものとするため、その調査結果から実態や課題を的確にとらえ、授業の工夫改善に活用する。
事業内容	印南町独自で全国学力学習状況調査・県学習到達度調査の対象外学年・教科の学力調査を実施し、児童生徒一人一人の学習面や生活面の成長の様子を客観的に把握し、今後の指導に生かすことを目的として、小学校4学年から中学校3学年を対象に標準学力調査を実施する。

	区分	金額（円）	特記事項
事業コスト	決算額	209,009	標準学力調査集計業務委託
財源内訳	国庫補助金	0	
	県補助金	0	
	その他収入	0	
	一般財源	209,009	

実績・成果	○標準学力調査実施教科【全小中学校】 ・小学校4学年：国語、算数、理科 ・小学校5学年：国語、算数、理科 ・小学校6学年：理科		
	・中学校1学年：理科 ・中学校2学年：理科 ・中学校3学年：理科		
○フォローアップワークシート（調査問題に準拠し、復習・見直しに活用する問題集） ・小学校4学年～中学校3学年【全実施教科】			

事業の評価	必要性（住民のニーズはあるか。事業を行う必要性があるか。）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や目的の実現に寄与しているか。）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与しない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化・コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
第1次評価 (担当者：自己評価)	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	□ A 取り組みに優れ、十分成果が上がっている。			
	<input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果が上がっている。			
判定及び説明	□ C 成果は十分上がってないが、改善の余地がある。			
	□ D 成果がほとんど上がってなく、事業実施の見直しが必要。			
事業の評価方 (教育委員会)	○全国学力学習状況調査において、小学校6学年の国語・算数、中学校3学年の国語・数学の実施及び和歌山県学習到達度調査において、中学校1・2学年の国語・数学・英語、中学校3学年の英語の実施に合わせて、町独自に小学校4学年以上の全児童生徒を対象として、標準学力調査を実施したことで、小学校4学年から中学校3学年までの国語、算数(数学)、理科、英語による児童生徒の学力の定着状況を把握し、各学校での指導の成果及び課題を分析することで、一層の学力向上へ向けた学校全体としての指導の工夫・充実に生かすことが出来た。			
事業の評価性 (教育委員会)	<input type="checkbox"/> 拡大する	最終評価 (評価委員会)	児童生徒にとって、客観性を持つテストは自分の力を確かめる良い機会である。 また、教師の側に立つと子ども達の得意な所と課題が明らかになり、自己の指導の改善に繋がる。 そして何より大切なことは、子ども達や教師がその結果に真摯に向き合うことである。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持する			
	<input type="checkbox"/> 見直しする			
	<input type="checkbox"/> 休止する			
	<input type="checkbox"/> 廃止：終了する			

印南町教育委員会

令和6年度 印南町教育委員会事業評価調書

担当係名：学校教育係

事務事業名	外国青年招致事業		
目的	外国語教育の充実を図るとともに、地域レベルでの国際交流を推進することを目的に、外国語指導助手(ALT)を任用し、外国語によるコミュニケーション能力を身に付けた人材を育成する。		
事業内容	外国語指導助手(ALT)を任用し、小中学校では外国語活動や外国語授業の指導助手として活用、また認定こども園いなみこども園や学童クラブにおいて遊びを通した外国語活動を行うことで外国語教育の充実と外国語に親しむ機会の確保を図る。		

	区分	金額（円）	特記事項
事業コスト	決算額	4,634,832	外国青年報酬、講師派遣委託料、車借上料等
財源内訳	国庫補助金	0	
	県補助金	0	
	その他収入	0	
	一般財源	4,634,832	

実績・成果	【外国語指導助手の任用】 令和5年8月から カーマイケル バルリー アンデモーリス（令和6年3月まで） 令和6年7月から ツアイ アイリーン エフ ワイ（現任）		
	【主な活動内容】 ○小学校：外国語活動の補助 ○中学校：外国語授業の補助 ○いなみこども園：外国語に親しみを持つための遊び ○学童クラブ：外国語活動		

事業の評価	必要性（住民のニーズはあるか。事業を行う必要性があるか。）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や目的の実現に寄与しているか。）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与しない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化・コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
第1次評価 (担当者：自己評価)	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	<input type="checkbox"/> A 取り組みに優れ、十分成果が上がっている。			
	<input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果が上がっている。			
判定及び説明	<input type="checkbox"/> C 成果は十分上がってないが、改善の余地がある。			
	<input type="checkbox"/> D 成果がほとんど上がってなく、事業実施の見直しが必要。			
判定及び説明	○外国語の授業において、ネイティブスピーカーによる指導の機会を確保することで、外国語をより身近なものとし、児童・生徒の語学習得意欲及び積極性の向上が図られた。 ○令和7年度はALT2名体制とし、さらなる英語教育の充実を図る。			
事業の評価 方 向 性 (教育委員会)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大する	最終評価 (評価委員会)	学校での英語教育は、教科書も授業形態(ALTの授業参加等)も数十年前とは様変わりし、小学校での英語授業の開始等、学ぶ英語から使える英語への転換が見てとれる。確かに外国人に対する抵抗もなくなってきており、発音やリスニング力、英文の意味を推測したりする力はついてきている。	
	<input type="checkbox"/> 維持する			
	<input type="checkbox"/> 見直しする			
	<input type="checkbox"/> 休止する			
	<input type="checkbox"/> 廃止：終了する			

令和6年度 印南町教育委員会事業評価調書

担当係名：学校教育係

事務事業名	印南町立小中学校通学及び校外活動スクールバス運行事業		
目的	べき地教育振興法に基づき、遠距離通学による児童生徒の負担軽減を図り、教育の振興に資するための通学に係る運行、また校外学習活動の推進を図ることを目的にスクールバス運行を実施する。		
事業内容	稻原小学校、清流小学校、清流中学校の統廃合により遠距離通学となった児童生徒の通学に要するスクールバス5台を運行する。また、社会見学等校外活動や部活動においてスクールバスを効果的に運用する。		

	区分	金額（円）	特記事項
事業コスト	決算額	17,574,904	通学：14,694,960円 校外活動：2,879,994円
財源内訳	国庫補助金	0	
	県補助金	0	
	その他収入	0	
	一般財源	17,574,904	

実績・成績	【通学運行】			
	○稻原小学校：2台（立石路線、切山路線） ・立石路線〔1台：26人乗り〕：8名利用 ・切山路線〔1台：26人乗り〕：13名利用			
	○清流小学校：2台（真妻路線、樺川路線） ・真妻路線〔1台：26人乗り〕：15名利用 ・樺川路線〔1台：15人乗り〕：7名利用			
	○清流中学校：1台（真妻路線） ・真妻路線〔1台：26人乗り〕：5名利用			
	【校外活動運行】			
	○印南小学校：7回 稲原小学校：11回 切目小学校：11回 清流小学校：20回 印南中学校：34回 稲原中学校：32回 切目中学校：35回 清流中学校：14回			

事業の評価	必要性（住民のニーズはあるか。事業を行う必要性があるか。）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や目的の実現に寄与しているか。）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与しない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化・コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
第1次評価 (担当者：自己評価)	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	<input type="checkbox"/> A 取り組みに優れ、十分成果が上がっている。			
	<input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果が上がっている。			
判定び 説考 明察	<input type="checkbox"/> C 成果は十分上がってないが、改善の余地がある。			
	<input type="checkbox"/> D 成果がほとんど上がってなく、事業実施の見直しが必要。			
	○校外活動バス運行については、特に部活動において近畿大会や全国大会出場により遠距離となる県外遠征でスクールバスを運行することで、安全の確保及び利便性の向上が図られている。 ○今後も、継続して運行会社・学校・教育委員会による定期的な三者会議を開催し、より一層の安全確保の徹底を図っていかなければならない。 ○学校と運行業者との連携を密にし、児童生徒の情報及び気象条件や危険箇所の有無等を情報共有し、安全運行の確保を図らなければならない。			
事業の評価 方性 (教育委員会)	<input type="checkbox"/> 拡大する	最終評価 (評価委員会)	学校の統廃合により、遠距離通学の児童生徒が生じ、スクールバスによる通学が余儀なくされた。今のところスクールバスによる大きな事故なく運行されている。関係機関の綿密な連携の成果である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持する			
	<input type="checkbox"/> 見直しする			
	<input type="checkbox"/> 休止する			
	<input type="checkbox"/> 廃止：終了する			
		<input type="checkbox"/> 維持する	また、公共交通機関（電車・バス等）の利便性が良いことから、校外活動や部活動にも利用されている。一般財源のみの運行で、色々な縛りのない状態で利用できることから、今後も安全に留意しながら運行していくと思う。	

令和6年度 印南町教育委員会事業評価調書

担当係名：学校教育係

事務事業名	印南町学習支援ソフト導入事業
目的	授業でのＩＣＴ活用を進める事により、過度な密状態を回避しながら、グループワーク等共同作業に取り組むことができる環境を整備する。必要に応じてオンライン授業を提供し、感染症対策と児童生徒の学びを保障する。
事業内容	町内全8校に学習支援ソフトを導入し、利活用を促進する。

	区分	金額(円)	特記事項
事業コスト	決算額	2,273,700	使用料
財源内訳	国庫補助金	0	
	県補助金	0	
	その他収入	0	
	一般財源	2,273,700	

実績・成果	○町内全8校にて学習支援ソフト（SKYMENU Cloud）を令和3年度において導入し、これを引き継ぎ活用するもの。
-------	--

事業の評価	必要性（住民のニーズはあるか。事業を行う必要性があるか。）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や目的の実現に寄与しているか。）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与しない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化・コスト縮減しているか）			
第1次評価 (担当者：自己評価)	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	<input type="checkbox"/> A 取り組みに優れ、十分成果が上がっている。			
判定び 説明 察	<input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果が上がっている。			
	<input type="checkbox"/> C 成果は十分上がってないが、改善の余地がある。			
	<input type="checkbox"/> D 成果がほとんど上がってなく、事業実施の見直しが必要。			
事業の評価 方 向 性 (教育委員会)	○システム導入により、生徒・教師間での画面情報の共有化や提出物の一括管理等が容易になり、学習がよりスムーズに行えるようになっている。 ○システムを使う指導者側のスキルも向上しており、教科指導、ＩＣＴ教育の両面から、必要性の高いものとなっている。	<input type="checkbox"/> 拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 維持する <input type="checkbox"/> 見直しする <input type="checkbox"/> 休止する <input type="checkbox"/> 廃止：終了する	最終評価 (評価委員会) 維持する	授業での活用を想定した様々な機能を持ち、ひとり一人が持つタブレット端末を生かすことが出来る。ただ指導者のスキルにより差が生じることと、維持費が高額になることが課題である。 有効に活用することで授業改善に繋がり、子ども達の学習の効率化、個に応じた指導が可能となり、子ども達の学習意欲向上にも繋がる。

生涯学習関係

公民館事業	20
青少年健全育成事業	21
スポーツ振興事業	23
読書のまちづくり事業	24
第7回いなみまめダムマラソン大会	25
文化財保護事業	26
印南町民プール管理運営事業	27
図書館司書配置事業	28
人権啓発事業	29
地域文化活動活性化事業	30

令和6年度 印南町教育委員会事業評価調書

担当係名：生涯学習係

事務事業名	公民館事業
目的	住民一人ひとりがその生涯にわたって、実際の生活に即する教育、学術及び文化に関する各種事業を行い、住民の教養の向上、健康増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。
事業内容	印南町全体だけではなく、地域の課題に即した教育や活動を推進していくことで、生涯学習への参加機会の拡充を図る。

	区分	金額(円)	特記事項
事業コスト	決算額	2,282,317	
財源内訳	国庫補助金	0	
	県補助金	0	
	その他収入	0	
	一般財源	2,282,317	

実績・成績	◆本館事業 春のおはなし会 日時：令和6年4月28日 来場者：120人 会場：公民館大ホール 内容：低学年向け絵本読み聞かせ、こども園向け読み聞かせ、人形劇 七タコンサート 日時：令和6年7月6日 来場者：300人 会場：こども園 内容：こども園5歳児、日高高校合唱部、日高高校プラスバンド部
	◆分館事業 ○花いっぱい運動の実施 [印南分館・稻原分館・切目分館・切目川分館] ○地区内清掃活動の実施 [印南分館・切目分館・切目川分館・真妻分館] ○球技大会 [切目分館・切目川分館] ○年末年始マラソン大会 [印南分館] ○真妻山登山整備事業 [真妻分館]

事業の評価	必要性（住民のニーズはあるか。事業を行う必要性があるか。）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や目的の実現に寄与しているか。）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与しない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化・コスト縮減しているか）			
第1次評価 (担当者：自己評価)	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	<input type="checkbox"/> A 取り組みに優れ、十分成果が上がっている。 <input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果が上がっている。 <input type="checkbox"/> C 成果は十分上がってないが、改善の余地がある。 <input type="checkbox"/> D 成果がほとんど上がってなく、事業実施の見直しが必要。			
判定び説考 明察	○公民館本館事業では春のおはなし会を実施するとともに、コロナ禍以降中止していた七タコンサートについても5年ぶりの開催を行い約300人の来場者であった。 分館活動としては地域の球技大会（切目分館・切目川分館）を実施、印南分館では年末年始のマラソン大会を開催し、地域と子どもの交流の場としていく方針である。 その他、各分館でも花いっぱい運動、清掃活動などの実施を行い、令和7年度につなげていく形となつた。			
事業の評価 方 (教育委員会)	<input type="checkbox"/> 拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 維持する <input type="checkbox"/> 見直しする <input type="checkbox"/> 休止する <input type="checkbox"/> 廃止：終了する	最終評価 (評価委員会)	公民館活動の目的は、住民の教養の向上、健康の増進、生活文化の振興などにある。幅広く他の分野との重なりもあり、そのすみ分けは難しい。 本館の活動はお話の会と七タコンサートであり、子どもを対象としたものである。分館の活動は地域づくりに重きをおいた活動になっている。 どちらも意義のあるものであり、ボランティアの力が求められている。人が集うという所に価値を見出したい。	維持する

令和6年度 印南町教育委員会事業評価調書

担当係名：生涯学習係

事務事業名	青少年健全育成事業
目的	家庭、地域、学校など関係機関との連携により、地域ぐるみでの見守り体制や諸事業を実施することで青少年の健全育成と非行防止を図るとともに、生涯学習や生涯スポーツ、ボランティア活動、地域イベント等への参加を促進し、地域との関わりの強化を図る。
事業内容	夏期休業期間の保護者による深夜巡回やあいさつ声かけ運動等による非行防止、小中学生から組織されるジュニアリーダーが率先して地域イベントへの参加、ボランティア活動への参加呼びかけにより地域ぐるみでの見守り体制や地域との関わりの強化を図る。また、夏場のドルフィンスイム・デイキャンプ、冬場の雪国体験など子どもの体験学習も積極的に行っている。

	区分	金額（円）	特記事項
事業コスト	決算額	2,559,866	
財源内訳	国庫補助金	0	
	県補助金	100,000	県育成協会補助金
	その他収入	1,659,866	体験学習の参加費
	一般財源	800,000	町補助金

実績・成果	□印南町青少年健全育成町民会議 (会長1名、副会長2名、監事2名、理事15名にて運営) 現会長：周家 洋平
	<p>【事業実績】</p> <p>□夏の夜間パトロール運動（愛のパトロール） 夏休期間中における青少年の深夜徘徊ないかを巡回し、子供たちが犯罪や事故に巻き込まれることを未然に防ぐことを目指すとともに、地域で子どもを見守る意識・環境を醸成する。 期 間：令和6年7月22日～8月26日（夏休み期間） 参加者：印南62人、稻原7人、切目66人、切目川26人、真妻9人、計170人</p> <p>□ドルフィンスイム体験 夏休み期間を活用し、イルカとの触れ合いを通じて命の尊さを学ぶとともに、他校の他学年の児童との交流を図る中で、青少年の健全育成を図る。 日時：令和6年8月8日（木） 行先：太地町 ドルフィンベース・くじらの博物館 対象者：小学4年生およびジュニアリーダー（計22人）</p> <p>□雪国体験学習 印南町では体験することの出来ない雪深い地域で、スキー教室や体験学習、家族と離れての団体生活や、子ども同士の交流を通して、参加者たちが協調性や主体性を身につけることを目的とする。 また参加者は、今回の経験を活かし、今後は地域活動やジュニアリーダー活動等に積極的に参加し、発展させることも目指す。 日 時：令和7年2月21日22日 行 先：ハチ高原スキー場（兵庫県養父市） 対象者：小学校5・6年生および中学生（ジュニアリーダー含む）（計51人）</p>

実績・成果	<p>□ ジュニアリーダー活動（20名）</p> <p>◆ デイキャンプ 廃校となった旧真妻小学校において火起こし体験、飯盒炊飯、カレー作りを行い、自然の中での料理を行うことを通じて、夏休みの思い出作りと、自然の楽しさや集団行動を身に付ける。</p> <p>日 時：令和6年8月18日（火） 場 所：旧真妻小学校 参加人数：12人</p> <p>◆ かえるフェスティバル能登地方応援活動 能登地震の被災地を支援するため「特産品を買って応援」「売上金を送って応援」を行い、被災した地域を支援し思いをはせることで、繋がりや社会貢献を学ぶ。 活動内容：子どもたちが能登地方から買った特産品を自分たちで販売し、売り上げを能登地方に寄付。</p> <p>日 時：令和6年11月17日（日） 場 所：いなみ漁港 参加人数：7人 売上金：147,000円 寄付金：28,900円（仕入経費の差引額）</p> <p>◆ チャリティーバザーボランティア 社会福祉協議会が実施するチャリティーバザーにボランティアとして参加し、物品並べや販売のお手伝いを行い、社会貢献や職業体験の一環とする。</p> <p>日 時：令和6年12月21日22日 場 所：印南町体育センター 参加人数：11人</p> <p>◆ 春の活動（フルーツサンドづくり、昔の遊び体験） ジュニアリーダーの会議において自主的に決定した内容に基づき、春休みを活用してフルーツサンド作りと昔の遊び体験を行った。</p> <p>日 時：令和7年3月27日（木） 場 所：印南町公民館 参加人数：12人</p>
	必要性（住民のニーズはあるか。事業を行う必要性があるか。）
	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や目的の実現に寄与しているか。）
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する <input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する <input type="checkbox"/> あまり寄与しない <input type="checkbox"/> できていない

事 業 の 評 価	経済・効率性（事務効率化・コスト縮減しているか）					
	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない					
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）					
	<input type="checkbox"/> 十分できている <input checked="" type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない					
第 1 次 評 価 (担当者：自己評価)	<input type="checkbox"/> A 取り組みに優れ、十分成果が上がっている。					
	<input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果が上がってている。					
	<input type="checkbox"/> C 成果は十分上がってないが、改善の余地がある。					
	<input type="checkbox"/> D 成果がほとんど上がってなく、事業実施の見直しが必要。					
判 定 び 説 考 明 察	<p>○本事業の2本柱であった雪国体験学習は令和元年度度以来の6年ぶりの実施となり51名が参加してくれた。またドルフィンスイム体験についても多くの参加者を見込めた。</p> <p>○あいさつ声かけ運動標語について、令和6年度のテーマは「つながり」であり、全507点の応募があった。審査については校長会に依頼しており31名が入賞している。</p> <p>○ジュニアリーダー事業では、5年度の9名から増加し20名の応募があった。 またボランティア活動として能登半島応援活動を通じて社会の一員としての体験を得られたのではないかと思う。</p>					
事 業 の 評 価 方 向 性 (教 育 委 員 会)	<table border="1"> <tr> <td> <input type="checkbox"/> 拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 維持する <input type="checkbox"/> 見直しする <input type="checkbox"/> 休止する <input type="checkbox"/> 廃止：終了する </td> <td rowspan="2">最終評価 (評価委員会)</td> <td>夏の夜間パトロールは長年続いている取組である。今のところ町内の子ども達は落ち着き大きな非行問題はないと認識しているが、地域の人たちが集まり子どもたちの健全育成に関わるという所に意義ある取組である。 またドルフィン体験や雪国体験、ジュニアリーダー等の取組は、主催者の積極的で粘り強いアプローチの成果で大幅に参加者が増えた。今後もこの流れを期待したい。</td> </tr> <tr> <td align="center">維持する</td> <td></td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 維持する <input type="checkbox"/> 見直しする <input type="checkbox"/> 休止する <input type="checkbox"/> 廃止：終了する	最終評価 (評価委員会)	夏の夜間パトロールは長年続いている取組である。今のところ町内の子ども達は落ち着き大きな非行問題はないと認識しているが、地域の人たちが集まり子どもたちの健全育成に関わるという所に意義ある取組である。 またドルフィン体験や雪国体験、ジュニアリーダー等の取組は、主催者の積極的で粘り強いアプローチの成果で大幅に参加者が増えた。今後もこの流れを期待したい。	維持する	
<input type="checkbox"/> 拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 維持する <input type="checkbox"/> 見直しする <input type="checkbox"/> 休止する <input type="checkbox"/> 廃止：終了する	最終評価 (評価委員会)	夏の夜間パトロールは長年続いている取組である。今のところ町内の子ども達は落ち着き大きな非行問題はないと認識しているが、地域の人たちが集まり子どもたちの健全育成に関わるという所に意義ある取組である。 またドルフィン体験や雪国体験、ジュニアリーダー等の取組は、主催者の積極的で粘り強いアプローチの成果で大幅に参加者が増えた。今後もこの流れを期待したい。				
維持する						

令和6年度 印南町教育委員会事業評価調書

担当係名：生涯学習係

事務事業名	スポーツ振興事業
目的	スポーツを通して、子どもから大人まで幅広い世代の体力の向上や健康の維持増進を促進することを図る。
事業内容	幅広い世代のスポーツの競技力及び身心の調和のとれた体力向上や健康の維持増進を図る。

	区分	金額(円)	特記事項
事業コスト	決算額	3,475,166	スポーツ推進委員報酬、各種団体補助、ジュニア駅伝等
財源内訳	国庫補助金	0	
	県補助金	0	
	その他収入	0	
	一般財源	3,475,166	

実績・成果	○少年スポーツ活動事業〔6競技(8団体)〕 〔野球:2団体、柔道:1団体、バレー:2団体、剣道:1団体、テニス:1団体、サッカー:1団体〕 ○体育協会事業 〔大会実績:町長杯ゲートボール大会、陸上クラブマラソン大会、ビーチボールバレー大会、グランドゴルフ大会〕 ○ジュニア駅伝競走大会〔結果:印南町チーム 17位〕
-------	---

事業の評価	必要性(住民のニーズはあるか。事業を行う必要性があるか。)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策や目的の実現に寄与しているか。)			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与しない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか)			
第1次評価 (担当者:自己評価)	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
判定説明 及び考察	<input type="checkbox"/> A 取り組みに優れ、十分成果が上がっている。			
	<input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果が上がっている。			
	<input type="checkbox"/> C 成果は十分上がってないが、改善の余地がある。			
	<input type="checkbox"/> D 成果がほとんど上がってなく、事業実施の見直しが必要。			
事業の評価 方 向 性 (教育委員会)	○少年スポーツについては精力的に練習に取り組んでおり、今後も団体と協力をしていくことで競技力の向上や健全な心身両面に寄与していくと思われる。			
	○体育協会事業については、1団体(野球)のみ大会を実施することができなかった。			
	○ジュニア駅伝競走大会では、結果が17位となり、大変健闘した。			
	<input type="checkbox"/> 拡大する	最終評価 (評価委員会)	少年スポーツは盛んで各種大会において素晴らしい成績を修めている。中学校に進む段階で、町内の学校にその部活がないなどの事情により町外の学校にその場を求めたり、クラブチームに所属することも少なくない。より高いレベルで技術を磨きたいとの思いは理解できるが、出来れば町内の中学校において活躍をしてほしいとの思いもある。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持する		一般的のスポーツは、競技者の高齢化や競技人口の減少もありやや下火の傾向にあるように思われる。今後は新たな種目を取り入れたり、身体づくりを楽しむニュースポーツ等の展開があつても良いと思われる。	
	<input type="checkbox"/> 見直しする			
	<input type="checkbox"/> 休止する			
	<input type="checkbox"/> 廃止:終了する			

令和6年度 印南町教育委員会事業評価調書

担当係名：生涯学習係

事務事業名	読書のまちづくり事業
目的	子どもたちが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で、欠くことのできない読書活動を推進するための施策を、総合的かつ計画的に実施していくこと（印南町読書のまちづくり事業計画）。
事業内容	春のおはなし会の開催、図書の購入、図書システムの管理運営。 季節に応じた図書の紹介やブックスタート事業で本に触れるきっかけづくりを行っている。

	区分	金額（円）	特記事項
事業コスト	決算額	5,568,003	図書購入費、図書管理システムリース料、協会負担金等
財源内訳	国庫補助金	0	
	県補助金	0	
	その他収入	0	
	一般財源	5,568,003	

実績・成果	○春のおはなし会 日時：4月28日（日）13:00～ 印南町公民館 来場者：約120人（親子） 支援団体：こども園、家庭教育支援員 ○公民館図書室の年間図書購入冊数は、911冊（一般書440冊、児童書190冊、絵本211冊 A V2本、雑誌68冊） ○公民館図書室の年間利用実績については、利用者6,778名・貸出冊数23,351冊、それぞれ昨年度比336名減・1,671冊減である。
-------	---

事業の評価	必要性（住民のニーズはあるか。事業を行う必要性があるか。）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や目的の実現に寄与しているか。）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与しない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化・コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
第1次評価 (担当者：自己評価)	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	<input type="checkbox"/> A 取り組みに優れ、十分成果が上がっている。			
	<input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果が上がっている。			
	<input type="checkbox"/> C 成果は十分上がってないが、改善の余地がある。			
<input type="checkbox"/> D 成果がほとんど上がってなく、事業実施の見直しが必要。				

判定び 説明 察	○図書室の利用者数・貸出冊数とも減少しているが、今後は本を借りたことがない人にいかに本に触れてもらうか、啓発活動の強化を図っていく必要がある。			
----------------	---	--	--	--

事業の評価 方 向 性 (教育委員会)	<input type="checkbox"/> 拡大する	最終評価 (評価委員会)	読書は、知識の増加、思考力の向上、ストレスの軽減など様々なメリットがある。また語彙力の増加、集中力の持続、人間性の育成など多岐にわたる効果が期待できる。 利用者数、貸出冊数の減少の原因は、タブレット等による検索の機会の増加、電子書籍での読書、あるいは働く世代の時間的な余裕のなさなどがその要因の一つと考えられる。 利用者数を増やすには、様々なアプローチと広いスペースの確保などの環境整備も有効であろう。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持する			
	<input type="checkbox"/> 見直しする			
	<input type="checkbox"/> 休止する			
	<input type="checkbox"/> 廃止：終了する			

令和6年度 印南町教育委員会事業評価調書

担当係名：生涯学習係

事務事業名	第7回いなみまめダムマラソン大会
目的	大会を通じ広く各層、各地域からの参加を得て、走ることにより健康の維持増進とランニングスポーツの振興、地域の活性化に寄与する。
事業内容	11月3日（日）切目川ダムの会場においてマラソン大会を開催する

	区分	金額（円）	特記事項
事業コスト	決算額	1,071,360	リストバンド、タオル、当日会場設営等
財源内訳	国庫補助金		
	県補助金		
	その他収入	362,500	参加費他
	一般財源	708,860	町補助金

実績・成績	□いなみまめダムマラソン 第7回大会：r6年(2024年11月3日)				
	区分	申込数	参加数	欠席数	
	町内	302組	318名	254組	271名
	町外	247組	288名	218組	253名
	合計	549組	606名	472組	524名
				77組	82名
	□いなみまめダムマラソン 第6回大会：r5年(2023年11月5日)				
	区分	申込数	参加数	欠席数	
	町内	338組	360名	324組	345名
	町外	271組	306名	256組	290名
	合計	609組	667名	580組	635名
				29組	31名

事業の評価	必要性（住民のニーズはあるか。事業を行う必要性があるか。）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や目的の実現に寄与しているか。）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与しない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化・コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
第1次評価 (担当者：自己評価)	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	□ A 取り組みに優れ、十分成果が上がっている。			
	<input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果が上がっている。			
判定び 明察	□ C 成果は十分上がってないが、改善の余地がある。			
	□ D 成果がほとんど上がってなく、事業実施の見直しが必要。			
	○令和6年度の課題を改善しつつ、令和7年度も引き続き実施していきたい。 ○令和6年度については参加者が少なかったので、令和7年度については申し込み期間を延長するとともに広報を拡充していく。			
事業の評価 方 (教育委員会)	<input type="checkbox"/> 拡大する	最終評価 (評価委員会)	切目川ダムにより水没した高串地区周辺でのマラソン大会である。豆マラソンという形で始まったこの大会ではあるが、コロナ禍で途中中断もあったが、すでに6回を数えている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持する		従来、町内の子ども達は長距離走を好んで走っていたが、最近の傾向として、「しんどい」と敬遠する子ども達も少なくない。そんな中で、こうしたマラソン大会を契機に走ることが好きになる子ども達が一人でも増えることを期待したい。	
	<input type="checkbox"/> 見直しする		また、マラソン大会を開催することで、町内外に印南町の自然の素晴らしさを知ってもらえる機会としたい。	
	<input type="checkbox"/> 休止する			
	<input type="checkbox"/> 廃止：終了する			

令和6年度 印南町教育委員会事業評価調書

担当係名：生涯学習係

事務事業名	文化財保護事業
目的	町内に所在する文化財のうち、町にとって重要なものについて、その保存及び活用のため必要な事業を行い、町民の文化向上に資する。
事業内容	文化財保護審議会の開催、文化財の保護・修繕、普及啓発活動を行う。

	区分	金額(円)	特記事項
事業コスト	決算額	670,259	委員報酬、その他 埋蔵文化財保護行政事務組合負担金等
財源内訳	国庫補助金	0	
	県補助金	0	
	その他収入	0	
	一般財源	670,259	

実績・成果	○文化財保護審議会：6月18日、11月12日、11月19日（県立博物館視察）、1月31日 ○従来より提言されていた町内の文化財について町指定に追加した。（5件） 町内の文化財については総計35件 国指定：1件、国登録2件、県指定8件、町指定24件
-------	--

事業の評価	必要性（住民のニーズはあるか。事業を行う必要性があるか。）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や目的の実現に寄与しているか。）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与しない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化・コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
第1次評価 (担当者：自己評価)	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	<input type="checkbox"/> A 取り組みに優れ、十分成果が上がっている。			
	<input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果が上がっている。			
判定び説明察	<input type="checkbox"/> C 成果は十分上がってないが、改善の余地がある。			
	<input type="checkbox"/> D 成果がほとんど上がってなく、事業実施の見直しが必要。			
	○文化財保護審議会委員による現地視察として島田光明寺の觀經曼荼羅について視察した。 県立博物館において展示されていた切目王子の所蔵品について視察した。 ○従来から審議委員会において提言されていた文化財について5件の追加登録を行った。 切目懐紙、切目王子の飛天図絵馬、香炉、光明寺の觀經曼荼羅、慶雲寺の涅槃図 ○町内に散在する民俗文化財となるであろう各種文物の所在・数量・状態等を調査し台帳化に取り組むとともに、一元管理するための資料館の整備を行いたい。 ○横川真妻神社のホルトノキが病気により枯死すると思われる。天然記念物については病気や外的要因等により損失する恐れもあることから、樹木医と協力し定期検査を行えるようにしていきたい。			
事業の評価 (教育委員会)	<input type="checkbox"/> 拡大する	最終評価 (評価委員会)	文化財は、一度失われると二度と取り戻すことが出来ず、現在の世代は、未来の世代のために文化財を保護する責任を負っている。こうした文化財に触ることで、自分たちの地域の文化に対する理解を深め、誇りを持つことが出来る。学校現場でも積極的に活用することで、子ども達の学習意欲を高め豊かな心を育むことが出来る。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持する		また、文化財の保存・活用は観光振興や地域活性化に繋がり、経済効果も期待できる。そのためには、ネット等による発信が不可欠である。	
	<input type="checkbox"/> 見直しする			
	<input type="checkbox"/> 休止する			
	<input type="checkbox"/> 廃止：終了する	<input checked="" type="checkbox"/> 維持する		

令和6年度 印南町教育委員会事業評価調書

担当係名：生涯学習係

事務事業名	印南町民プール管理運営事業
目的	町内の小中学校児童生徒及び一般住民の水泳技術並びに水泳能力の向上を図り、心身の鍛成と健康の維持及び増進を図る。
事業内容	広く町民の利用や地元小中学生の学校プールとしての利用等を図るため、7月から8月の2ヶ月間を町民プールとして開館・運営する。

	区分	金額(円)	特記事項
事業コスト	決算額	6,299,170	機械等維持管理：57,200円、敷地借上料：2,000,000円 水質検査：29,700円、水質保全薬：189,320円 プール管理委託業務：2,594,900円 プールろ過装置更新：1,043,900円 役務費（保険料・浄化槽料等）：384,150円
財源内訳	国庫補助金	0	
	県補助金	0	
	その他収入	0	
	一般財源	6,299,170	

実績・成果	○開館期間：令和6年6月29日～8月26日（59日間）（R5:57日間） ○利用者人数：2,338名（R5:2,318名）
-------	--

事業の評価	必要性（住民のニーズはあるか。事業を行う必要性があるか。）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input checked="" type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や目的の実現に寄与しているか。）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与しない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化・コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
第1次評価 (担当者：自己評価)	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	<input type="checkbox"/> A 取り組みに優れ、十分成果が上がっている。			
	<input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果が上がっている。			
判定説明察	<input type="checkbox"/> C 成果は十分上がってないが、改善の余地がある。			
	<input type="checkbox"/> D 成果がほとんど上がってなく、事業実施の見直しが必要。			
	○町民プール敷地については、平成7年度より私有地を借上げ、毎年借地料を支払っている状況である。 当該土地借地料は町が借用している他の土地借地料と比較すると、大きく上回っていたが所有者と協議をした結果、平成30年度に段階的に借地料を下げていく覚書を交わしており、令和2年度から令和6年度までの5年間は平成29年度と比べ約4割減となった。 借地料については令和6年度中に契約を更新し、令和7年度以降は年間200万円だったものを100万円に抑えることとなっている。			
事業の評価 方指向性 (教育委員会)	<input type="checkbox"/> 拡大する	最終評価 (評価委員会)	行政の努力により、賃貸料は大幅に減少した。管理維持費はかかるものの、町内の数少ないスポーツ施設として大切にしていきたい。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持する		将来的に、小学校の統合がなされた時にその存続も議論されると思うが、町民プール存続となれば、レジャー施設として集客できるような施設に生まれ変わればと思う。	
	<input type="checkbox"/> 見直しする	維持する		
	<input type="checkbox"/> 休止する			
	<input type="checkbox"/> 廃止：終了する			

令和6年度 印南町教育委員会事業評価調書

担当係名：生涯学習係

事務事業名	図書館司書配置事業
目的	町内の小中学校及び公民館図書室の運営の改善・向上を図り、児童・生徒・住民による図書室の利用の推進。おはなし会などへの協力による町内の読書活動の推進。
事業内容	小中学校並びに公民館の図書の整理、貸出し。子育てサークル・こども園・学校等での読み聞かせ。学校図書・公民館図書の選書。春のおはなし会への協力。「印南町読書のまちづくり事業推進委員会」の推進

	区分	金額(円)	特記事項
事業コスト	決算額	3,546,624	図書館司書給与、期末勤勉手当、社会保険
財源内訳	国庫補助金	0	
	県補助金	0	
	その他収入	0	
	一般財源	3,546,624	

実績・成果	○令和6年度貸出冊数 公民館：23,351冊 中学校：3,026冊 小学校：27,873冊
-------	--

事業の評価	必要性（住民のニーズはあるか。事業を行う必要性があるか。）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や目的の実現に寄与しているか。）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与しない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化・コスト縮減しているか）			
第1次評価 (担当者：自己評価)	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	<input type="checkbox"/> A 取り組みに優れ、十分成果が上がっている。			
	<input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果が上がっている。			
判定び 説明 察	<input type="checkbox"/> C 成果は十分上がってないが、改善の余地がある。			
	<input type="checkbox"/> D 成果がほとんど上がってなく、事業実施の見直しが必要。			
	○生徒数の減少に伴い貸出冊数は減少傾向にあるものの、一人当たりの貸出件数について分析していく必要がある。			
	事業の評価 方 向 性 (教育委員会)	<input type="checkbox"/> 拡大する	最終評価 (評価委員会)	図書館司書の仕事は、図書室の整理、選書、読み聞かせ等多岐にわたる。特に図書館司書が配置されていない小中学校においては、その仕事がおおいに評価されている。 今後は、さらに「読書がもたらすもの」や「読書の持つ楽しさ」「読書の時間を確保すること」等を学校の子ども達に、そして幅広く町民に啓発をしていってもらうことを期待する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持する			
	<input type="checkbox"/> 見直しする			
	<input type="checkbox"/> 休止する			
	<input type="checkbox"/> 廃止：終了する			

令和6年度 印南町教育委員会事業評価調書

担当係名：生涯学習係

事務事業名	人権啓発事業
目的	多様化する人権問題について、人権学習の推進及び人権啓発活動に取り組むことにより、町民一人ひとりの人権意識の高揚をはかるとともに、人権を尊重する社会の実現をめざす。
事業内容	人権福祉講演会の開催、人権啓発物品の作成・配付を行う。

	区分	金額(円)	特記事項
事業コスト	決算額	700,232	啓発事業消耗品等
財源内訳	国庫補助金	0	
	県補助金	333,000	人権啓発事業県補助金
	その他収入	0	
	一般財源	367,232	

実績・成果	○人権福祉講演会 ・講師：やなせ なな 実施日：令和7年3月6日（木）19：00～ 会場：印南町公民館大ホール 来場者：約200人 テーマ：いのちと心を伝える愛のうた
	○人権啓発物品の作成・配布 ・作成物品：人権啓発ロゴ入り風船300個 人権啓発標語入りペン100本 人権啓発標語入り防犯ブザー62個 風船クリップ300個 ・配布場所：各種会議、イベント等で配布。ブザーは各小学校新入生に配布。

事業の評価	必要性（住民のニーズはあるか。事業を行う必要性があるか。）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や目的の実現に寄与しているか。）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与しない	<input type="checkbox"/> できていない
経済・効率性（事務効率化・コスト縮減しているか）				
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）				
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
第1次評価 (担当者：自己評価)	<input type="checkbox"/> A 取り組みに優れ、十分成果が上がっている。			
	<input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果が上がっている。			
	<input type="checkbox"/> C 成果は十分上がってないが、改善の余地がある。			
	<input type="checkbox"/> D 成果がほとんど上がってなく、事業実施の見直しが必要。			
判定説明 及び観察	○人権啓発物品の作成・配布については、町内のイベントを中心に様々な機会において活動を行うことができた。 ○啓発物品には、あいさつ声かけ運動標語の各部門最優秀作品を使用しており、標語の浸透にも活用している。 ○人権福祉講演会については、やなせな氏を講師に迎え人権意識の啓発となる講演会を行ってもらえた。令和7年度にあっても引き続き人権意識の啓発となるような講師を呼び多くの人に聞いてもらえるように努めたい。			
	<input type="checkbox"/> 拡大する	最終評価 (評価委員会)	日本国憲法で謳われている「国民主権」「基本的人権の尊重」「平和主義」は人権の3つの柱である。 日々の生活に追われる中ではあるが、様々な人権課題（女性、子ども、高齢者、外国人、障がい者、性的少数者、インターネット上における誹謗・中傷等）についてメディアなどで目にすることも多い。そうした人権侵害について率直に怒りを覚える感覚が大切である。 こうした感覚を呼び起こす端緒となる種々の取組（講演会、啓発物等）を大切にしていきたい。世界に目を向けると、様々な地域で起こっている紛争、戦争があり、そこには人権の最低限の生命の尊重が存在していない事実に目を向ける必要がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持する			
	<input type="checkbox"/> 見直しする			
	<input type="checkbox"/> 休止する			
	<input type="checkbox"/> 廃止：終了する		維持する	
事業の評価 方性 (教育委員会)	<input type="checkbox"/> 拡大する	最終評価 (評価委員会)	日本国憲法で謳われている「国民主権」「基本的人権の尊重」「平和主義」は人権の3つの柱である。 日々の生活に追われる中ではあるが、様々な人権課題（女性、子ども、高齢者、外国人、障がい者、性的少数者、インターネット上における誹謗・中傷等）についてメディアなどで目にすることも多い。そうした人権侵害について率直に怒りを覚える感覚が大切である。 こうした感覚を呼び起こす端緒となる種々の取組（講演会、啓発物等）を大切にしていきたい。世界に目を向けると、様々な地域で起こっている紛争、戦争があり、そこには人権の最低限の生命の尊重が存在していない事実に目を向ける必要がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持する			
	<input type="checkbox"/> 見直しする			
	<input type="checkbox"/> 休止する			
<input type="checkbox"/> 廃止：終了する	維持する			

令和6年度 印南町教育委員会事業評価調書

担当係名：生涯学習係

事務事業名	地域文化活動活性化事業（澤和樹&蓼沼恵美子 音楽コンサート）
目的	地域の文化活動の活性化を図るべく、普段聞くことのできない「本物」の音楽を地域住民に伝えることを目的とする。
事業内容	プロヴァイオリニスト澤和樹氏とプロピアニストの蓼沼恵美子氏を招き、ヴァイオリンとピアノによる名曲を、『澤和樹&蓼沼恵美子～癒しと愛の二重奏～』と銘打って演奏。幅広い世代を対象として、高校生以下は入場料無料とし、気軽に音楽へ触れる機会を提供。

	区分	金額(円)	特記事項
事業コスト	決算額	864,649	出演料、消耗品（ポスター、チケット等）
財源内訳	国庫補助金	0	
	県補助金	198,000	地域づくり支援事業補助金
	その他収入	155,000	協力金（1,000円×155人）
	一般財源	511,649	

実績・成果	『澤和樹&蓼沼恵美子～癒しと愛の二重奏～』 □日 時：令和6年5月12日（日）14：00～16：00 □場 所：印南町公民館 大ホール □参加者：180名（内、高校以下28名、内町内14名） □協力金：1,000円/人*155枚=155,000円
-------	---

事業の評価	必要性（住民のニーズはあるか。事業を行う必要性があるか。）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や目的の実現に寄与しているか。）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与しない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化・コスト縮減しているか）			
第1次評価 (担当者：自己評価)	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	<input type="checkbox"/> A 取り組みに優れ、十分成果が上がっている。 <input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果が上がっている。 <input type="checkbox"/> C 成果は十分上がってないが、改善の余地がある。 <input type="checkbox"/> D 成果がほとんど上がってなく、事業実施の見直しが必要。			
判定び 及定説 明察	一流奏者による演奏は、参加された皆様には好評で魅了した。今後もこのような機会を設けることもよい体験のひとつと考える。特に高校生以下児童生徒時代での出会いは、子どもの夢を膨らますよい経験となる。このため、園・学校を通じ、児童生徒へ積極的に広報していくことが重要と考える。			
事業の評価 方 向 性 (教育委員会)	<input type="checkbox"/> 拡大する	最終評価 (評価委員会)	本物に触れる機会が少ない地方において、コンサートや演劇を鑑賞することは、自身の視野を広げ新たな視点や価値観を発見するきっかけになる。同時に、生活に潤いや感動、精神的な安らぎをもたらし、人生をより豊かにしてくれる。 補助金を活用しながら、今後も取り組んでいきたい事業である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持する			
	<input type="checkbox"/> 見直しする			
	<input type="checkbox"/> 休止する			
	<input type="checkbox"/> 廃止：終了する			

幼児対策関係

地域子育て支援拠点事業	3 2
学童保育（放課後児童健全育成事業）	3 3
放課後子ども教室推進事業・子どもの居場所づくり推進事業	3 4
認定こども園運営及び広域保育園園児委託事業	3 5
教育・保育の質の向上のための研修等事業	3 6
外国人講師派遣事業	3 7

令和6年度 印南町教育委員会事業評価調書

担当係名：幼児対策係

事務事業名	地域子育て支援拠点事業
目的	乳幼児親子の交流等を促進する子育て支援拠点施設において、遊びを通して子どもの成長発達を促すとともに子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援する。
事業内容	いなみっ子交流センターを拠点とし、育児教室の開催や子育てサークル支援として子どもとのかかわり方や発達等についての講座、育児相談を行う。また、出生届提出時、6か月児と2歳児を対象にブックスタートを実施し、絵本の読み聞かせや絵本の選び方等の助言を行う。

	区分	金額(円)	特記事項
事業コスト	決算額	7,767,249	
財源内訳	国庫補助金	2,589,000	子ども・子育て支援交付金〔1/3〕
	県補助金	2,589,000	子ども・子育て支援事業県補助金〔1/3〕
	その他収入	0	
	一般財源	2,589,249	

実績・成績	<ul style="list-style-type: none"> ○育児教室（ひまわり教室） <ul style="list-style-type: none"> ・親子の触れ合いを育むことができる内容を取り入れたさまざまな遊びを実施した。 ・年間実施回数：12回　・平均参加親子数：7.2組 ○子育てサークル支援 <ul style="list-style-type: none"> ・支援員による子育てに関する情報の提供や絵本の読み聞かせを行った。 ・年間実施回数及び平均参加親子数：スマイル（印南）39回6.2組、ひよこクラブ（稻原）12回1.9組、よちよち会（切目）12回3.4組、さくらんぼ（切目川）12回0.8組 ○ブックスタート <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児には絵本の読み聞かせを行い、保護者には絵本に接する重要性の理解に努めた。 ・年間実施回数：12回　・対象親子数：6か月児22組、2歳児33組
-------	---

事業の評価	必要性（住民のニーズはあるか。事業を行う必要性があるか。）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や目的の実現に寄与しているか。）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与しない	<input type="checkbox"/> できていない
第1次評価 (担当者：自己評価)	経済・効率性（事務効率化・コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
判定説明 及び考察	<input type="checkbox"/> A 取り組みに優れ、十分成果が上がっている。			
	<input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果が上がっている。			
	<input type="checkbox"/> C 成果は十分上がってないが、改善の余地がある。			
	<input type="checkbox"/> D 成果がほとんど上がってなく、事業実施の見直しが必要。			
事業の評価 方 向 性 (教育委員会)	○毎月のひまわり教室や家庭教育支援員会議において、家庭教育支援員といなみこども園保育教諭との情報共有ができ、家庭教育のより良い支援に繋がっている。			
	○低年齢児のいなみこども園等への就園率が上昇傾向にあり、子育てサークルの参加数はやや減少傾向であった。自分が住む地域以外の子育てサークルにも参加したいという参加者もいた。孤立した子育てを防ぐために、家庭教育支援員による声掛け等を強化していく必要がある。			
	<input type="checkbox"/> 拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 維持する <input type="checkbox"/> 見直しする <input type="checkbox"/> 休止する <input type="checkbox"/> 廃止：終了する	最終評価 (評価委員会) 維持する	核家族化が進み、地域コミュニティが希薄化している現在、子育てに関し孤立化しがちである。こども園への就園率が増えて、その受け皿にはなってはいるが、育児教室、子育て支援サークル、ブックスタート等の取組は、保護者の横のつながりの場として大きな役割を担っている。 子育てにかかる色々なストレスをため込むことなく、解放する場、気軽に相談できる場、情報を共有する場として大切にしていきたい。	

令和6年度 印南町教育委員会事業評価調書

担当係名：幼児対策係

事務事業名	学童保育（放課後児童健全育成事業）
目的	保護者が仕事などで家を留守にしている家庭の小学生を対象として、放課後や学校の休業日に、児童の安全な居場所の確保と健全な育成〔遊びや生活の場、集団での学びの場の提供〕を図る。
事業内容	町内4小学校児童を対象にいなみっ子交流センターにおいて、生活の場や学習する機会の提供、及びさまざまな体験活動を実施する。

	区分	金額（円）	特記事項
事業コスト	決算額	11,993,315	
財源内訳	国庫補助金	2,562,000	子ども・子育て支援交付金〔1/3〕
	県補助金	2,562,000	子ども・子育て支援事業県補助金〔1/3〕
	その他収入	4,432,150	学童利用料
	一般財源	2,437,165	

実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○学童保育利用人数 <ul style="list-style-type: none"> ・通常利用：77名（印南小49名、稻原小5名、切目小11名、清流小12名） ・延長利用：15名（142回） ・臨時利用：14名（85回） ・夏休み利用：15名（印南小10名、稻原小1名、切目小1名、清流小3名） ○主な活動 <ul style="list-style-type: none"> ・学習（宿題）、英語教室11回、百人一首教室12回、放課後子ども教室児童との合同活動40回、読み聞かせ、避難訓練、ボランティア活動等
-------	--

事業の評価	必要性（住民のニーズはあるか。事業を行う必要性があるか。）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や目的の実現に寄与しているか。）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与しない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化・コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
第1次評価 (担当者：自己評価)	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	<input type="checkbox"/> A 取り組みに優れ、十分成果が上がっている。			
	<input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果が上がっている。			
判定説明 及び考察	<input type="checkbox"/> C 成果は十分上がってないが、改善の余地がある。			
	<input type="checkbox"/> D 成果がほとんど上がってなく、事業実施の見直しが必要。			
	<ul style="list-style-type: none"> ○交流センター長の配置により、施設整備が充実し、学校との連携力も向上した。また毎日の事前会議で児童や保護者の様子を指導員と共有することにより、それぞれの児童に寄り添う対応と指導が出来た。 ○令和6年度途中から公募により指導員を1名採用した。共働き家庭が増え、利用人数も年々増加しており、新たな指導員をさらに確保することが必要となっている。 			
事業の評価 方 向 性 (教育委員会)	<input type="checkbox"/> 拡大する	最終評価 (評価委員会)	共働き家庭の増加で、小学生の放課後の居場所が大きな課題になっている。迎えについては、スクールバス等で行うなど町行政の手厚い支援があり保護者にとっては心強い。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持する		今後も希望する家庭が増加することも予想され、指導員の増加等の必要性があり、利用料をもう少しあげても良いのではないかと思われる。	
	<input type="checkbox"/> 見直しする			
	<input type="checkbox"/> 休止する			
	<input type="checkbox"/> 廃止：終了する			

令和6年度 印南町教育委員会事業評価調書

担当係名：幼児対策係

事務事業名	放課後子ども教室推進事業・子どもの居場所づくり推進事業
目的	放課後及び夏休み中の子ども達の安全・安心な居場所として開設し、地域の方の参画を得て、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。
事業内容	4小学校区において地域の指導員の支援を下に、学習やスポーツ、文化活動、交流活動等、さまざまな体験活動を実施する。

	区分	金額(円)	特記事項
事業コスト	決算額	2,171,874	
財源内訳	国庫補助金	0	
	県補助金	1,432,000	和歌山県地域と学校の連携・協働体制推進事業費県補助金 [2/3]
	その他収入	0	
	一般財源	739,874	

実績・成績	○実施回数及び参加状況 ・印南教室：実施回数40回、参加申込み率9.3%(15名/161名)、平均参加児童数12.0名/回 ・稻原教室：〃41回、〃42.6%(26名/61名)、〃20.8名/回 ・切目教室：〃112回、〃74.2%(46名/62名)、〃23.7名/回 ・清流教室：〃31回、〃34.4%(22名/64名)、〃16.9名/回 ○主な活動内容 ・学習(宿題)、本の読み聞かせ、工作、カープラ、将棋、折り紙、指導員との交流 等

事業の評価	必要性(住民のニーズはあるか。事業を行う必要性があるか。)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策や目的の実現に寄与しているか。)			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与しない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか)			
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)				
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
第1次評価 (担当者：自己評価)	<input type="checkbox"/> A 取り組みに優れ、十分成果が上がっている。			
	<input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果が上がっている。			
	<input type="checkbox"/> C 成果は十分上がってないが、改善の余地がある。			
	<input type="checkbox"/> D 成果がほとんど上がってなく、事業実施の見直しが必要。			
判定説明 及び 洞察	○宿題を中心とした学習に取り組み、その後の遊びなどを通して地域の指導員や友達との交流を深めることができた。夏季休業期間では、指導員から教わる工作活動等を実施し、多くの体験ができた。年間の活動を通じて、教育環境の向上につながった。 ○放課後子ども教室運営委員会では指導員と学校が情報共有の機会を持つことができ、支援が必要な子に対して、より良い支援ができるよう工夫することができた。			
事業の評価 方 向 性 (教育委員会)	<input type="checkbox"/> 拡大する	最終評価 (評議委員会)	放課後や夏休みの子どもの居場所の確保や、地域住民との交流を通して、子どもの成長をサポートする事業である。学校と地域が一体となり子ども達を育てていこうとする素晴らしいねらいをもった取組である。 しかしながら、切目小以外は週一回の実施であり、子ども達の居場所づくりといった面では十分とは言えない。 将来的には、小学校の統合をした上で、学童保育と統合した形で推し進めていくことが望ましい。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持する			
	<input type="checkbox"/> 見直しする			
	<input type="checkbox"/> 休止する			
	<input type="checkbox"/> 廃止：終了する			

令和6年度 印南町教育委員会事業評価調書

担当係名：幼児対策係

事務事業名	認定こども園運営及び広域保育園園児委託事業
目的	町内の就学前児童が質の高い教育・保育が受けられる環境整備を図り、児童が育つ中で人権尊重の精神を育み、遊びや体験を通して、友達を大切にする心や、自ら考え判断し行動できる力の基礎を作ることを目的として実施する。
事業内容	幼保一元化された認定こども園等が円滑に機能し、また低年齢児保育や特別支援保育など、保護者の児童教育に関するニーズにきめ細かく対応できるよう支援する。

	区分	金額(円)	特記事項
事業コスト	決算額	256,746,405	認定こども園運営費、広域保育園等園児委託料等
財源内訳	国庫補助金	109,566,986	認定こども園等運営費国庫交付金等
	県補助金	49,649,942	認定こども園等運営費県負担金等
	その他収入		
	一般財源	97,529,477	

実績・成績	【園児数】 ○いなみこども園：231名、町外保育所等：15名（令和7年3月末時点） 【主な事業内容】 ○延長保育：長時間園児の延長保育〔年間利用：70名、年間延：170回(@266千円)〕 ○一時預かり：短時間園児の延長預かり〔年間利用：1名、年間延：211回(@1,707千円)〕 ○保育料国基準半額化：国基準額から半額化〔30人(@11,664千円)〕 ○3歳児以降副食費助成金：3～5歳児の副食費無償化〔年間延人数：1,316人@6,293千円〕 ○こども園運営補助：加配保育士5名、養護0.5名、処遇改善(@30,000千円)〕

事業の評価	必要性（住民のニーズはあるか。事業を行う必要性があるか。）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や目的の実現に寄与しているか。）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与しない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化・コスト縮減しているか）			
第1次評価 (担当者：自己評価)	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	<input type="checkbox"/> A 取り組みに優れ、十分成果が上がっている。 <input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果が上がっている。 <input type="checkbox"/> C 成果は十分上がってないが、改善の余地がある。 <input type="checkbox"/> D 成果がほとんど上がってなく、事業実施の見直しが必要。			
判定及び説明 明察	○保育料の安さはもとより、質の高い児童教育を実現する為、運営補助金を交付しての職員の加配に加え、専門家による保育研修の実施、子どもたちへの英語教育の早期実施等様々な取り組みを行っている。 ○優れた人材を確保する観点から、保育士の処遇改善にも取り組んでいるが、本俸の引き上げには至っていない点について課題として認識している。			
事業の評価 方性 (教育委員会)	<input type="checkbox"/> 拡大する	最終評価 (評価委員会)	こども園は町内の就学前の子ども達の保育を一手に預かり、子育ての根幹となっている。最近の傾向として、3歳児未満の児童の入園が増えている。園の指導者たちは、まさに親代わりの手取り足取りの保育を行っている。 保護者はしつけ等をこども園に丸投げすることなく、たっぷりと愛情を注ぎ子育てに関わっていく必要がある。 また、質の高い保育実現のための保育士の処遇改善も求められる。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持する			
	<input type="checkbox"/> 見直しする			
	<input type="checkbox"/> 休止する			
	<input type="checkbox"/> 廃止：終了する			

令和6年度 印南町教育委員会事業評価調書

担当係名：幼児対策係

事務事業名	教育・保育の質の向上のための研修等事業
目的	認定こども園保育教諭の専門性向上と質の高い人材を安定的に確保する観点から、教育・保育の質の向上を図るために研修等を実施することにより、子ども達の主体的な活動や学びを深めえる指導方法についての理解を推進する。
事業内容	いなみこども園保育教諭を対象とする研修会を実施する。園小中連携事業として学校教職員も研修し、小学校就学に向けての教育・保育内容について相互理解を深める。

	区分	金額（円）	特記事項
事業コスト	決算額	353,500	
財源内訳	国庫補助金	176,000	子ども・子育て支援体制整備総合推進事業費国庫補助金〔1/2〕
	県補助金	0	
	その他収入	0	
	一般財源	177,500	

実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ○大学准教授の外部講師を派遣。 ○実施回数 <ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を必要とする子どもへの支援研修：6回 ・園小中連携に係る講演会：1回 ○主な活動内容 <ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を必要とする子どもへの支援研修については、午前に保育参観し、午後に支援会議を実施。支援会議では保育教諭、管理職、外部講師が出席し、集団行動への参加が難しい園児や行動問題のある園児、気になる行動のある園児への支援方法の検討、保育環境の改善に向けた支援検討会議を実施。 ・園小中連携に係る講演会については、保育教諭及び小中学校教職員における合同研修を実施し、幼児教育から学校教育への円滑な移行支援について相互理解を深めた。また、特別支援教育、幼児教育における最新の知見や議論されるトピックスに触れ、認識を広げた。
-------	---

事業の評価	必要性（住民のニーズはあるか。事業を行う必要性があるか。）				
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少	
	有効性（施策や目的の実現に寄与しているか。）				
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与しない	<input type="checkbox"/> できていない	
	経済・効率性（事務効率化・コスト縮減しているか）				
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない		
第1次評価 (担当者：自己評価)	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）				
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
	□ A 取り組みに優れ、十分成果が上がっている。				
	<input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果が上がっている。				
	<input type="checkbox"/> C 成果は十分上がってないが、改善の余地がある。				
判定及び 明察 説考	□ D 成果がほとんど上がってなく、事業実施の見直しが必要。				
	○大学准教授の外部講師を派遣し、特別な支援を必要とする子どもへの支援研修を実施した。保育の様子を評価してもらうことで、良い所と課題がわかり、後日送付される資料を含め研修内容を全職員に周知し、改善や実践を行うことで、全体の保育の質の向上につながった。				
	○園小中連携研修に係る講演会を実施し、園の視点だけでなく、小・中学校の視点も含めて講演していただくことで、幼児教育から学校教育への円滑な移行支援について相互理解を深めることができた。令和5年度講演内容より2歳児育児担当制を取り入れ、愛着形成に重点を置くことができた。				
	事業の評価 方 (教育委員会)	<input type="checkbox"/> 拡大する	最終評価 (評価委員会)	就学前教育は子どもの生きる力の基礎を培い、生涯にわたる学習意欲や学習態度の基礎を育む大切な時期の教育である。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 維持する		そうしたことを踏まえ、独自の研修を深めると共に小学校・中学校との連携を積極的に行っている。	
<input type="checkbox"/> 見直しする		小中学校での落ち着いた学習ぶりをみると、その成果が如実に表れており、今後も不断の努力が期待される。			
<input type="checkbox"/> 休止する		<input checked="" type="checkbox"/> 維持する			
<input type="checkbox"/> 廃止：終了する					

令和6年度 印南町教育委員会事業評価調書

担当係名：幼児対策係

事務事業名	外国人講師派遣事業
目的	幼児期に英語に触れる環境を整えることを目的に、外国人講師を認定こども園に派遣し、遊びを通して楽しみながら英語を学び、英語でのコミュニケーション力の習得を図る。
事業内容	いなみこども園3・4・5歳児を対象児に英語活動を実施する。活動は各年齢に適した内容であり、毎月テーマを定めて取り組んでいる。主に歌、カード、絵本、ゲーム、アクティビティーで、遊びを通して楽しみながら英語に親しめるものである。

	区分	金額(円)	特記事項
事業コスト	決算額	1,152,000	
財源内訳	国庫補助金	0	
	県補助金	0	
	その他収入	1,152,000	基金繰入金（未来投資基金）
	一般財源	0	

実績・成績	○活動内容 対象年齢：3・4・5歳児 実施回数：各クラス週1回（30分）延べ90回 実施内容：歌、カード、絵本、ゲーム、アクティビティー等 季節に合わせた活動（ハロウィン等）
	○依頼講師 コアラ英会話学校（御坊市）B j B u l m e r（ビージェイブレマー）氏

事業の評価	必要性（住民のニーズはあるか。事業を行う必要性があるか。）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や目的の実現に寄与しているか。）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与しない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化・コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
第1次評価 (担当者：自己評価)	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	<input type="checkbox"/> A 取り組みに優れ、十分成果が上がっている。			
	<input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果が上がっている。			
	<input type="checkbox"/> C 成果は十分上がってないが、改善の余地がある。			
判定び 説明察	<input type="checkbox"/> D 成果がほとんど上がってなく、事業実施の見直しが必要。			
	○コアラ英会話学校の外国人講師が子どもの対応に慣れている講師であり、歌やカードを効果的に活用し、町の狙いでもある遊びを通して楽しみながら英語に親しむことが出来ていた。 ○3歳児は初め緊張している様子であったが、少しずつ慣れ、期待と興味を持ってる様子が見られた。4歳児では進級時から楽しみにしている子が多く、歌を歌ったり積極的に発言していた。レッスン以外でも英語の単語を話したり、英語で歌う様子が見られた。5歳児ではこれまでのつながりのあるレッスンで、より英語を深め生き生きとした様子であった。聞く、体を動かす等様々な活動に集中していた。レッスン以外でも色を英語で言ったり、英語でじやんけんをしたり、保育者からの英語に関する問い合わせに英語で答えたりなど子どもたちの生活にも英語がなじんでいる様子がうかがえた。子どもたちの様子から、早期に英語に触れ合うことの効果が感じ取れる。			
事業の評価 方 向 性 (教育委員会)	<input type="checkbox"/> 拡大する	最終評価 (評価委員会)	小学校からの英語学習へのスムーズな移行をサポートするというスタンスで、英語に慣れ親しむことが大きなねらいである。 その上で英語への抵抗感を減らし、リスニング力や発音の向上、異文化理解の促進などに繋がっていくことが期待される。 外国语学習についてもこども園、小学校、中学校の指導者の連携が不可欠である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持する			
	<input type="checkbox"/> 見直しする			
	<input type="checkbox"/> 休止する			
	<input type="checkbox"/> 廃止：終了する			